

こあい・Bねあい
コミュニケーション

や た ご う

矢田郷

<http://www.city.nanao.ishikawa.jp/yatago/yatagou1/index.htm>

第126号

平成20年 1 月 5 日

発行 矢田郷公民館
編集 館報編集部
TEL **52-5240**
FAX **52-5249**



矢田郷公民館館長 寺谷和男

新年おめでとうございます。

大谷川クリーン大作戦、YAYAフェスタinやたごう、七尾城まつり、大運動会等、各町会長さんをはじめ公民館スタッフの結束のもと無事終える事が出来ました。

警察庁より能登地区で初めて「安心、安全モデルステーション」が矢田郷公民館に設置されました。今年は歴史と文化を今に伝える能登畠山家創設600年記念事業が開催されます。又、「市民のねがい矢田郷地区実践委員会」と共に歴史と文化を育み伝える新しいまちづくりに取り組みたいと思います。

次の時代につなぐ「住んでよかった矢田郷」と思える「地域コミュニティセンター」にどうか貴方もスタッフの一員に加わり作り上げていきませんか。お待ちしております。

矢田郷地区町会連合会会長 小林義弘

新年おめでとうございます。

平成20年の区切りの良い年の幕開けです。子年から始まる十二支の最初の年でもあります。千里の道も一歩から、山積している課題に向かって新たに出発して参りましょう。

“今やらねばいつ出来る、儂がやらねば誰がやる”と言った人がいますが、私どもの心境は正にそれです。地域ネットワークでもある公民館活動を通して、各種団体とスクラムを組んで地域の発展にどう貢献できるかと考え、積極的に皆様と共に我がふる郷、我が公民館を守り、各町会長と公民館の役職員が1つになって諸行事等に頑張り、他の地区の模範となるように、住んで良かった矢田郷を願い、その為には皆様のお力添えなくば進める事は出来ません。今後のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



矢田町 竹田 一貴 (12歳)

ぼくは、今年初めての年男です。3月に12才になり春には中学生になります。中学生になるとすこし大人になった気持ちになります。小学校の内は、いろいろ手伝ってもらっていたけど、これからは自分でがんばってみようと思います。中学生になったら、勉強も部活もいっしょうけんめいがんばりたいと思います。



大和町 八島 明子 (24歳)

子年を迎えるにあたり、もう24歳になるのだな、と月日の流れの早さにびっくりしています。

就職してから辛い、悲しいと思うことが多くなりました。けれど、いつも笑顔を忘れずに何にでも挑戦していく勇気を持とうと思います。

今年も、幸せな笑顔がたくさん溢れる一年になれば良いなと思います。



古府町 谷田 登 (36歳)

久しぶりに原稿用紙を前に、子供の頃の苦手な作文を思い出し、気が付いたら今日が切だ。この年になっても変っとらんな…。苦手やな…ハァ…。
ということで、これを期に苦手な事にも向き合っていくかぁ。…得意な事あったかい？



所口町 桜井 保子 (48歳)

富山から七尾へ嫁ぎもうすぐ22年。右も左もわからない私に、能登の七尾の皆さんはとても優しくかったです。長女も今年成人式を迎えます。地域の皆さんと一緒に、これからも元気一杯！お世話になったお返しを少しずつでもできればと思います。これからもよろしく願います。

2008年
子年
年男年女



藤野町 滝 由紀夫 (60歳)
60歳(還暦)です。ちょうど仕事がリタイヤとなり、第二の人生のスタートと言われています。

何か新たな熱くなれることを見つけ、有意義な生活を送りたいと思っており、今までの経験を社会に役立てることができればと願っています。



古府町 小沢 市郎 (72歳)

去年3月の能登半島地震の頃は、病院のベッドで悶々としていました。

今、ようやく心おだやかに日暮しできるようになったのも、家族やまわりの方々の支えのお蔭とありがたく思っています。

6回目の巡りですが、この1年こそ「心配をかけない」、「迷惑をかけない」でいたいものだとして強く自分に言い聞かせています。

これまで以上に地域の催しや同窓の集いにも仲間に入れていただき、笑いの出る日々であることを念じています。



竹町 村田 益次 (84歳)

あけましておめでとうございます。

私の生まれは大正13年。何回もネズミを経験しました。

が、皆良い年でした。今年もきっと良い年ですよ。

お蔭様でここまで生かさせていただきました。次のネズミを目指し、今後も日々を楽しみたいと思っております。



本府中町 竹本 シナ (96歳)

お蔭様でこの歳迄元気に生かしてもらいました。

地域の方々、家族達に見守られ有難い事です。これ

からも出来る事は自分でやり、お念仏とありがたいの一言を心がけ、一日一日を大切に心穏やかに過ごしたいと願っています。

頼りにしています町会長



上府中町町会長 矢田 勝二

上府中町は小さな町ですが、能登に通じている3つの国道(159・160・249)に面していますので大変に車の交通量の多い町であります。昔は近くにあった旧七尾駅(停車場)より奥能登や能登島方面に通う船着場へ向うメインストリートで精米所、洋品店又隣の町では造り酒屋(2ヶ所)やバナナ屋、その少し先の街角ではカフェなんかもあって大変に賑わった通りであったようです。又、昭和30年代には七尾で初めて歩道が出来ました。町の最大の行事は夏の七尾祇園祭で全町一丸となって威勢よくがんばっております。又、当町の奉燈は朱色が綺麗なのが自慢です。祭の始まる夕方は車のラッシュ時と重なり皆様に迷惑をかけています。バイパスが早く出来ます様お願い致します。



本府中町3区町会長 古沢 勲

私達の住む町会も高齢者が増え、空家屋も増加し「防災」、「防犯」、「環境美化」の点からも心配事が増し憂いを感じています。ただ、今は、民生児童、福祉、健康、食改等の各委員の方々及び町会健老者の協力の元何事もなく過ごしていますが今後の町会運営を考えると、青壮年会員各位が町会の現状を認識し、理解していただき町会運営により一層の協力と絶大なる力添えを願う次第であります。高齢者には「安心」を子供達には「安全」を目標に挨拶、声かけに努め、健康に自信のある限り町会活動に微力ながら恩返しのお気持ちで勤めます由、今後共宜敷くお願い致します。



本府中町1区町会長 竹本 俊夫

本府中町1区の町会長を務めて2年目の竹本です。日頃は何かのご協力頂き有難うございます。1区の範囲は以前有った貨物の鉄道線路跡を境に北方に位置しています。住宅地が主で、90戸の一般世帯と48世帯のAPの方々に住んでいます。少子高齢化傾向の強い地区でもあり、防犯、防災活動において今後特に重要課題であり、苦心しております。本府中会館では毎週水曜日に「さくら会」に依る健康体操、踊り、ダンス等で交流、親睦を深めております。

本府中町5つの区の町連関係各位の方々と共に住みよい町づくりをめざして、努力してまいります。今後とも宜しくお願い申し上げます。



藤野2区町会長 中村 勝行

「共に考え、共に語り、共に動く」我が町はそんな町です。また周辺には、保育園、小・中学校、高校がそろっている最高の教育環境です。

かつては若さを誇りとしていた町の皆様もちょっと高齢になったかな?という感じもしますが、ともあれ町会長として皆様のお役に立ちたいと思うばかりです。



所口町町会長 佐野藤吉郎

所口町は古い歴史の町で天正時代、利家公の入国支配の際に小丸山の地から明神野の原へ強制移動を命じられ現在迄400余年になります。古老は今もメジノと呼びます。昔からなぜか藤橋町の中へ飛地として6ヶ所住混んで入っていたので今の居住者は西藤橋町、南藤橋町、本藤橋町、馬出町などへ編入されて、今は本貫地の本宮往来の両側が主です。今も目新しい増加は無いです。

私になってから去年、今年と和倉で年1回の親睦会を催しています。

町内には延喜式内社の気多本宮が在り平国祭、チャンチキ山、夏のお涼み祭、鶴祭など古式床しい祭の宝庫だったので。



小池川原町町会長 高山 豊

四季折々に変貌する城山の眺望ができ、閑静な田園中に昔ながらの佇まいを伝えてきた当町は、農免道路や土地改良によって第1次変遷がありました。

そして能越道建設で今、第2次変遷を迎えています。住居の移転、神社の移転、集会所建設、農業用水の整備等々、道路建設に絡まる諸課題が山積しています。何事にも全町あげて協力しなければ、ことが進まない分一人一人の町会に対する意識は高いものがありますし、また互いに思いやれる心の温かい町だと思っています。

山積する諸課題を町民の英知と行政のお力添えを得ながら進めてまいりたいと思っています。

はたちの集い

プチ・パーティー

矢田郷地区新成人祝賀会

▶日時：平成20年1月13日(日)14:30~15:30

▶場所：七尾サンライフプラザ
文化ホール側2階24会議室

▶会費：1,000円(写真代・軽食代)



お祝いの一言

元東部中学校校長 高山 豊

皆さんが東部中学校を卒業して、もう5年！晴れて成人式を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。「人間は生かされて生きている」と言います。人間を取り巻くすべてのものの恩恵を受けていることに、日々感謝し生きたいものです。



矢田郷婦人会会長 真館 秋子

共に学んだ友との再会、成人式おめでとうございます。喜びを十分わかち合ってください。そして心の支えとなった人に感謝し、人間性を高めてほしいと思います。大合併で地元の活性化を願う我々、心温まる「手料理」でお待ちしています。いつまでもこの感動を忘れず、地域社会発展のための御活躍を期待申し上げます。

天神川原町 荒木 康誠

成人式を迎えるにあたり、あまり実感が無いのが本音です。まだ学生で親に甘えながら、社会の厳しさや無縁な生活を送っているからかも知れません。同じ年で社会に出て頑張っている人に負けないよう、これからの日々を充実したものにしていきたいと思います。



母より 元気な心で、社会のために働ける大人になって下さい。



本府中町 三浦 梨沙

学校を卒業し、働き始めてみると大変なことだと改めて実感しました。それが分かったのも今まで支えてくれた家族や友人、周囲の方達のおかげだと思っています。感謝の気持ちを忘れず責任を持った言動に繋がってきたいです。



母より 甘えん坊だった梨沙が、もうハタチ！今では頼りになる存在です。成人おめでとう。

矢田町 横山 広野

細かなステップを積み重ね、鮮やかなトライを積み重ね、勝利する！明日のことはわからない。だから今日を精一杯生きる。立派な社会人になります。



母より 社会人として男として“そこそこ”ではなく“一生懸命”生きてください。自分の回りは皆“師”です。学んでください。

新成人の決意 + 親のメッセージ

本府中町 清田 啓太

小学校入学から、14年もの月日が経ちました。今、私は大学に通いながらこれからの自分の歩み道について試行錯誤しています。人生のゴールは先にある。夢の実現まで胸を張り、一人の成人として一歩ずつ歩いていきます。



父より 多くの人に支えられて生きている事に対し、感謝の気持ちを大切に！

藤野町 藤森 美千代

「大人の仲間入りをする」という実感がまだありません。短大卒業を目前にして、やっと社会に出る事の厳しさを感じるようになりました。まだまだ心許無く見える私ですが、部活動で培った根性で前に進んで行きたいと思っています。



母より いつの間にか背丈も母を越し、頼もしくなりましたね。次は体重も…!?

編集後記

- 不惑の年齢を越えて我身を振り返ると、人生の先輩方からの教えの中で成長させてもらえたと感じます。二十歳の諸君！先輩方々の声には耳を傾けましょうね。(H・F)
- 寒い季節には、温かい鍋料理などで、それに熱カン1本も添えてあれば申し

分なし…。何でも美味しく食べれることは、元気の証です。だけど食べ過ぎない様に自分のペースで無理をしないことが大事。長寿の秘訣は腹八分とも言われています。自分の健康状態に応じた食生活を送りたいものです。今年目標『自分の適量を守り、う

- す味でバランス良く食べよう』(K・I)
- 寒い寒いと言う季節になりました。色々な行事に参加出来る事は、健康であるからだ、と思っています。大勢の中の一人ですが、これからもよろしくお願ひします。(I子)